様式第２）　　受付番号

実施計画書

審査課題	看護管理者研修を通した管理者としての成長プロセスと研修のあり方の検討―受講者インタビューによる質的研究―				
研究等組織	氏　名		所　　属	職名	担当の分担
	代表者	片岡恵美	岐阜ハートセンター	副看護部長	統括・研究計画・データ収集・分析・論文作成
	分担者	中嶋武広	岐阜ハートセンター	看護部長	研究計画・データ収集・分析・論文作成
		武藤英理	岐阜聖徳学園大学	教授	研究計画・データ収集・分析・論文作成
研究実施期間	令和６年４月～令和８年３月31日				
研究実施場所	岐阜ハートセンター				

１、研究等の実施目的：何をどこまで明らかにしようとしているのか
（具体的に記入すること）

・　看護管理者研修を受講した看護管理者が、研修を通してどのような成長や変化を認識しているのかを明らかにする
・　受講者の語りから、管理者としての思考・判断・行動に影響を与えた研修要素を明らかにする
・　今後の看護管理者研修の方法および構成のあり方について示唆を得る

２、研究等の実施計画及び方法：目的を達成するための計画及び方法を具体的に

記入すること
目的を達成するための計画および方法 本研究は、令和6年4月から令和8年3月31日までの2年間を研究期間とし、看護管理者研修を受講した看護管理者へのインタビューを通して、管理者としての成長および研修方法の意義を明らかにすることを目的として段階的に実施する。 【令和6年4月～令和6年9月】 ・先行研究（国内外）の文献検討を行い、研究の背景および理論的枠組みを整理する ・研究目的・研究課題・研究方法を精緻化し、研究計画書を完成させる ・半構造化インタビューガイド（質問項目）の作成および内容の検討を行う ・所属機関の研究倫理審査委員会へ研究計画を申請し、承認を得る 【令和6年4月～令和7年3月】 ・研究対象者（看護管理者研修受講者）への研究協力依頼および説明を行う ・研究参加に関する文書による同意取得を行う ・研究協力に同意した看護管理者を対象に、半構造化インタビューを実施する ・インタビューは集団で実施し、60分程度とし、同意を得た上で録音する ・録音データから逐語録を作成し、個人が特定されないよう匿名化を行う 【令和7年10月～令和8年1月】 ・逐語録を用いて質的帰納的分析を行う ・意味のある文脈単位を抽出し、コード化を行う ・コードの類似性・関連性を検討し、カテゴリー化・概念化を行う ・分析過程においては、逐語録への再照合や研究者間での検討を行い、分析の信頼性と妥当性の確保に努める 【令和8年2月～令和8年3月】 ・分析結果を整理し、看護管理者としての成長および研修方法の意義をまとめる ・研究結果をもとに、今後の看護管理者研修のあり方について考察する ・学会発表および論文投稿に向けた原稿作成を行う
3、研究等における生命倫理的配慮について、人権擁護、理解と同意、不利益及び危険性、医学的貢献の予測について
個人情報の管理体制（個人情報管理者、連結表の管理体制、匿名化の方法等） 本研究は、看護管理者研修を受講した看護管理者を対象に、インタビューを通して研修による成長や認識の変化を明らかにすることを目的とした質的研究である。研究の実施にあたっては、ヘルシンキ宣言の趣旨を踏まえ、研究対象者の人権および尊厳の保護に十分配慮する。研究参加は対象者の自由意思に基づくものとし、研究の目的、方法、研究参加に伴う負担、個人情報の取り扱い、研究結果の公表方法等について、文書および口頭で十分に説明したうえで、文書による同意を得る。研究への参加を拒否または途中で撤回した場合にお

いても、対象者にいかなる不利益も生じないことを説明する。

インタビューは対象者の都合に配慮した時間および場所で実施し、心理的負担が生じないよう配慮する。インタビュー内容は、対象者の同意を得たうえで録音し、逐語録を作成する。逐語録および分析データは匿名化し、個人や所属施設が特定されないよう十分に配慮する。

研究で収集した試料・情報・同意書の保管場所、研究終了後の試料の取扱い

収集したデータは研究目的以外には使用せず、研究担当者が厳重に管理する。電子データはパスワードを設定した媒体に保存し、紙媒体は施錠可能な場所で保管する。研究終了後、一定期間保管したのち、適切な方法で廃棄する。